

【 ロゴマーク 】

楠の木（グリーンベース部分）

善通寺市の木であり、新病院の外壁、内壁に施されるすべての壁画のモチーフである楠の木を採用。こどもから大人まですべての人の憩いの場となる病院を象徴している。また、その外形は四国をかたちどっており、香川県のみならず四国全体の医療を担ってゆくという当の決意表明でもある。

楠の木（幹部）

パッチワークになっている幹部は、当院の専門性の高い、多数の標榜診療科目を象徴しており、各分野における日々の臨床研究によって、高度で安心な医療が支えられているということを象徴している。



実と双葉

“実”の場所は善通寺市の位置を示しており、“双葉”には、これまで善通寺市民の健康を支えてきた香川小児病院・善通寺病院という大木からの思いを受け継ぎ、ここ善通寺の新病院から新しい医療の発信をしてゆきたいという意志が込められている。

大きな鳥と小さな鳥

こどもからおとなまですべての人の健康を見守ってゆく病院であるということを示している。